

日独経済シンポジウム「ロジスティクス」に 300人



コピーライト: www.duesseldorf.de 写真家 Wilfried Meyer

デュッセルドルフの日本デーで。ヨーロッパ随一の物流拠点NRW州をアピール

毎年この時期の恒例となったイベント「日本デー」で、5月24日「将来のロジスティクス戦略」と題し、日独経済シンポジウムがデュッセルドルフのホテルニッコーにて開催された。NRW州はそのヨーロッパの中心に位置する立地や優れた交通インフラを武器に多くの物資が日々流通する世界屈指の物流拠点。物流のグローバル化、高速化に伴い、日独双方の関心は非常に高く、約300名がシンポジウムに参加した。同シンポジウムでは日本ロジスティクスシステム協会の西田厚聰会長（株式会社東芝取締役会長）が基調講演を行った他、環境負荷の軽減、エネルギー資源の有効活用の点からも将来のロジスティクスを見据えたディスカッションが展開された。

2013年4月NRW.BANK.ifo景況感指数 (速報)



コピーライト: NRW.BANK

大きく冷え込む景況感。現況、先行き動向共にマイナスに

4月のNRW.BANK.ifo景況感指数は大幅に悪化した。現況評価が昨年10月以来となるマイナスとなり、また今後6ヶ月の先行き動向も楽観的な見方が大きく後退した。製造業では、現況をプラス評価する企業は殆どなかったものの、先行き動向に関しては、多少改善するだろうとの期待が示された。建設業の景況感も前月比で悪化。現況はかろうじてプラス評価となったが、先行き動向では、前月見られた「慎重ながらも楽観視」は完全に後退した。小売業でも4月の景況感が大幅に悪化した。回答企業のうち3分の1以上が現況をネガティブに評価し、先行き6ヶ月間についても、更なる悪化を予想している。景況感の悪化は卸売業でも見られ、現況評価がマイナスに転じたのは2010年3月以来となった。また先行き動向も懐疑的な見方が大半を占めた。

NRW州の景況感指数 (季節要因調整済)

月/年	05/12	06/12	07/12	08/12	09/12	10/12	11/12	12/12	01/13	02/13	03/13	04/13
景況感指数	2.9	1.0	-3.3	-6.3	-6.6	-9.1	-6.9	-3.2	-0.2	3.2	4.3	-4.0
現況	10.1	9.7	8.3	3.3	3.9	-1.4	0.7	1.3	2.0	2.8	3.9	-7.1
期待指数	-4.0	-7.4	-14.3	-15.6	-16.6	-16.6	-14.2	-7.6	-3.3	3.7	4.6	-0.9

出典: NRW.BANK

バイオテックが社会課題解決の糸口に



国際産業バイオテクノロジークラスター会議CLIB2021がデュッセルドルフで開催

経済及び産業界の持続可能性を達成する上で、バイオ産業の活用は重要な手段となる。バイオ産業を活かすことで、資源効率、気候保全、医療、人口変動など社会が抱える大きな問題の解決策が見いだされると期待されているからだ。第4回目となる国際産業バイオテクノロジークラスター会議CLIB2021（於：デュッセルドルフ）の開会にあたり、シュルツェ NRW 州科学大臣は、「バイオ産業は解決への糸口を提供してくれる。石油依存型の産業からバイオ産業への転換を図っていく。」と述べた。NRW 州では50以上の大学と研究機関がライフサイエンスとバイオテクノロジーの研究に取り組んでおり、360社がライフサイエンス分野の企業。うち、バイオテクノロジー企業は70社。また、ドイツのバイオテック産業総売上高の40%以上を NRW 州がたたき出している。更にシュルツェ大臣は「OECDのバイオテクニカル統計レポート2010で、NRW 州がヨーロッパの最も技術革新的なバイオテクノロジー地域、と評価されたのは偶然ではない。」とし、伝統ある NRW 州の化学産業に裏打ちされたバイオテックの発展に期待を述べた。

出典

イベント情報 in NRW



NRW州が先進的に取り組む3つのテーマのイベントを紹介

ホスピタルテクニカ 2013

日時：2013年6月20・21日

会場：InHaus- Zentrum: Forsthausweg 1, 47057 Duisburg (デュイスブルク市)

最新病院施設および医療技術をテーマに、フラウンホーファー研究所のエキスパート等が病院施設の最新コンセプトを紹介。なお、会場となる「フランホーファー・インハウス」は研究センターとして名を馳せている。主催：病院施設技術専門協会 (FKT [詳細](#)・[申込](#))

第1回NRWフォーラム「リハビリテーション技術」

日時：2013年7月11日

会場：RuhrCongress Bochum: Stadionring 20, 44791 Bochum (ボーフム市)

高齢化や事故、または疾病による身体機能の衰えを回復させることは、日本やドイツのような高齢化社会において益々重要な課題となっている。NRW州ではロボティクス、センサー技術、ITなどを活用し、スピーディで個人々の状況に合わせたリハビリ技術の研究が進められており、アーヘン工科大学応用技術研究所やドルトムント工科大学、ケルン大学病院等の専門家による発表を行う。[詳細](#)・[申込](#)

第22回アーヘン・コロキウム「車両・エンジン技術」

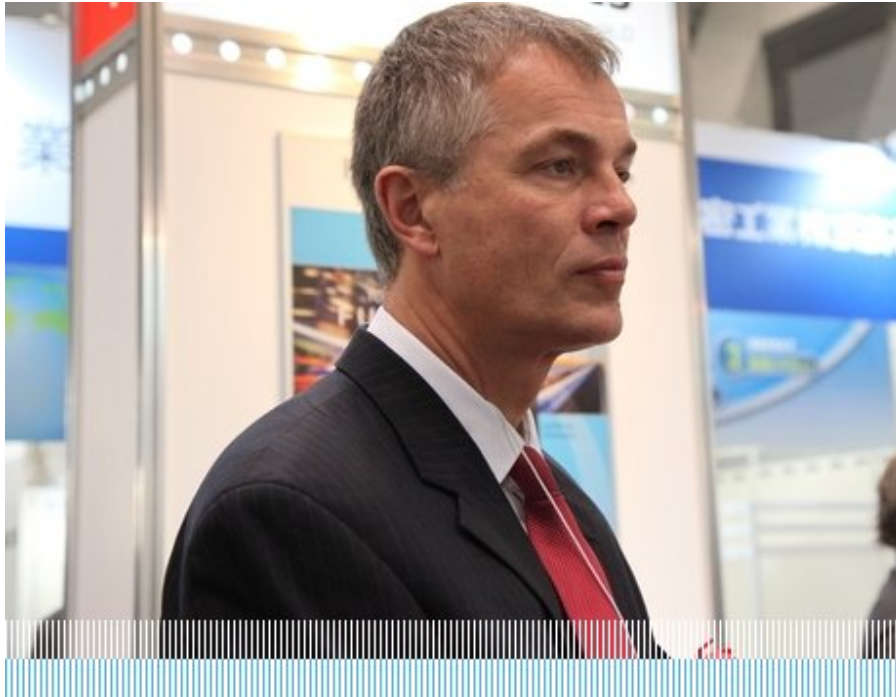
日時：2013年10月7～9日

会場：Eurogress Aachen: Monheimsallee 48, 52062 Aachen (アーヘン市)

ヨーロッパ最大規模の車両およびエンジン技術の専門会議。2012年は31カ国から1800人が参加。国際会議や展示会に加え、アーヘン工科大学車両研究所 (ika) のテストコースでトライアル車両、コンポーネント、プロトタイプが視察できる。

[詳細・申込](#)

レメル環境大臣：コジェネ推進でエネルギーシフト「メイド・イン・NRW」を実現



市町村のプロジェクト案をコンペで選定。コジェネ推進に2500万ユーロ

NRW州環境省は市町村のコジェネ・プロジェクトを推進するためコンペティション「コジェネ・モデル市町村」をスタートさせた。総額2500万ユーロを投じて行われるコンペの、第一次選考が先般終了し、参加した51市町村による48プロジェクト案から、審査委員会は21のプロジェクトが選定された。当該市町村は8ヶ月後の第二次選考に向け、詳細なコンセプト作りに着手する。なお、このコンセプト作成には最大90%の助成が行われる。第二次選考では、モデル市町村に適した3つの最優秀コジェネ・プロジェクトが絞り込まれ、州政府の助成金を得ていよいよ実施へと歩を進める。

レメルNRW州環境大臣は「エネルギーシフト“メイド・イン・NRW”にとり、コジェネは重要な要素。市町村もコジェネを導入すれば、エネルギー効率向上のポテンシャルのフル活用が可能だと十分に承知している。」と述べた。環境省とエネルギーエージェンシーNRWの委託調査によれば、NRW州はコジェネにより二酸化炭素排出量の35%および資源の35%を削減可能と試算された。

出典

エネルギー効率ビジネスが成長市場に



ドイツでは80万人以上が従事。エネルギー価格上昇が後押しするも、今後の投資にマイナス要素も

高い暖房費と高騰する電気料金を背景に、ドイツのエネルギー効率関連産業が更に成長すると期待されている。エネルギー供給、空調設備、建物エンジニアリング、建設、電気機器などの業界の63社を対象としたモニタリング調査が今般初めて行われ、ドイツではエネルギー効率関連ビジネスへの就業者数が2012年には約80万人に上り、総売上高が16%増加の1460億ユーロに達したと発表された。高騰するエネルギー価格に並び、連邦政府のエネルギー政策も市場の成長を後押しする要因となっている。ただし、エネルギーコストが上昇しているため、長期的にはエネルギー効率向上に投資する資金が不足する可能性もあると、調査結果では指摘された。

出典：ハンデルスブラット 2013.05.14.